



いとすぎ学級

武蔵野市立境南小学校 古畑晴美
武蔵野市立第六中学校 原田和代

いとすぎ学級は、武蔵野赤十字病院のなかにある院内学級です。当時の病院関係者の方たちの「入院している子どもたちにも教育を」との思いに始まり、昭和48年に開設されました。

入院中でも学習を続けることは、子どもたちの心の大きな支えとなります。また、同年代の仲間と一緒に過ごすことで子どもらしく生活することができます。「入院しただけ、いとすぎ学級に行ってもこんなことができたよ。勉強がわかるようになったよ。友だちができたよ。」そんな学級であり続けたいと願っています。

表紙の絵は、いとすぎ学級で過ごした小学生が自分の顔を描いてくれたものです。教室に掲示してあるものから、今回は、そのごく一部を紹介させていただきます。



プレおばあちゃん教室

おじちゃんの参加も歓迎しております

日時：平成24年1月18日（水）、3月21日（水）
午後1時～3時

場所：母子保健相談室
対象者：お孫さんの育児にかかわる方
内容：赤ちゃんのお風呂の入れ方
お世話の仕方などを体験

講義「最近の育児について」
講師：臨床心理士

受講料：3,150円



*お問合せ先：武蔵野赤十字病院
母子保健相談室
0422-32-3111（代）



糖尿病教室

日時：平成24年2月4日（土）午後1時～3時

内容：糖尿病と心疾患
糖尿病と歯

日時：平成24年3月3日（土）午後1時～3時

内容：糖尿病と眼
質疑応答

場所：武蔵野赤十字病院 3番館1階 山崎記念講堂
受講料：500円当日払い。予約不要
お問合せ：武蔵野赤十字病院 0422-32-3111
医療社会事業課（内線7111）
栄養相談室（内線5292）

*講師の都合により内容が変更する場合があります。



救急法等講習会日程

武蔵野赤十字病院

内容：幼児安全法短期講習会
日時：平成24年2月5日（日）
午後1時～3時 保育付
場所：母子保健相談室



内容：救急法資格継続講習会
日時：平成24年2月25日（土）
午後1時～5時30分
場所：山崎記念講堂

内容：救急法基礎・養成講習会
日時：平成24年3月17日（土）、18（日）、20（火）
午前9時30分～午後5時30分
場所：山崎記念講堂

*会場の都合により日程が変更となる場合があります。
*「山崎記念講堂」と「母子保健相談室」は3番館1階にあります。
*お問合せ先：日本赤十字社東京都支部
救護課 講習係 03-5273-6466



学校や学年が違っていても、マーガレット病棟2階の教室に來ればみんな仲間です。病院の中にある学校「いとすぎ学級」（院内学級）

基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供する
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図る
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進める
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続する
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくる

新年のごあいさつ



院長 富田 博樹

昨年我が国は東北地方を中心に未曾有の大災害に見舞われ、多くの方が大変な苦しみに打ちひしがれました。亡くなられた方はもとよりご家族の悲嘆は余りあるものとお察し申し上げます。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。当院も日本赤十字社の病院として少しでもお力になれるよう、昨年は延べ 916 人の当院職員が被災地に駆けつけ、災害救護・支援に全力を投じて参りました。今年は全国民が協力し災害からの復興に向かって進むことが望まれていますし、私どももその復興に協力してまいります。当院は今年も救急医療・がん医療・小児医療に力を注いでいきます。病院の近代化に向け 10 年前から、2 番館・3 番館・外来棟などを建築し、救急センターを改築、さらに脳卒中・心臓病の治療体制を整備してきました。昨年 4 月には東京都で二つの拠点病院のひとつとして、東京都肝疾患診療連携拠点病院の指定を受けました。私どもは病院の近代化のスピードを速めています。昨秋には電子カルテの全面導入を終えました。今年 4 月にはがんの放射線治療をさらに強化するために新たな放射線治療棟の建設を始めます。そして 4 年後には新病棟を敷地内に建築する計画も確定しています。

このように救急・がん医療を中心に、高度な医療を行う体制作りを続けながら、昨年同様に地域医療・介護・福祉の発展のため、近隣の病院や医師会を中心とした診療所の先生方、そして在宅医療など介護・福祉を担っている行政や訪問看護・ケアマネジャーの方々とさらに協力を深めてまいります。そして皆さまが安心して暮らせる地域作りにも職員一丸となって努力を続けてまいりたいと思います。



事務部長 中島 辰男

昨年は東日本大震災をはじめ、多くの自然災害が発生しました。今年は被災された方が一日も早く復興されることを心より願っております。

さて当院はこの度、放射線治療機器「リニアック」を更新します。治療の中断がないよう事前に「リニアック棟」を増築し、機器の調整期間を経て平成 25 年 8 月稼働の予定です。

地域の中核病院として、更に診療機能の充実を目指すので、どうぞ宜しくお願いします。



看護部長 若林 莉美

被災地ではまだまだ長い復興の道が続いていますが、この困難を乗り越え、今年はいいことがたくさんあると信じています。

武蔵野赤十字病院の周辺の地域は、健康に関する意識が非常に高い地域です。この町で健康に暮らしたいという願い、あるいは病を得てもこの土地で自分らしく暮らしたい、という皆様の希望に添えるよう職員一同取り組んでいます。

私たち看護師は皆様の身近な存在としてお役に立ちたいと思っております。今年は今まで以上に地域と協働の活動力を入れていく予定でおります。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

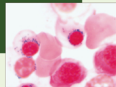
診療科のご紹介

血液内科

部長 加藤 淳



スタッフメンバー



顕微鏡赤球

10 月から「血液・腫瘍内科」が血液内科(加藤、高野、大木、梅澤各医師)と固形癌を専門とする「腫瘍内科」(中根、御子柴四医師)に別れました(悪性リンパ腫は当直、薬科を担当)。おかげさまで血液内科を受診される患者さんの数は年々増加しておりますが、外来枠、病床数には制限があり、当科を効率よく円滑にご利用いただくため外来受診は完全予約制とさせていただきますいております。

また当科の特色(高度・専門的治療が可能)を鑑み、診断と治療方針を決定後、化学療法や特殊な治療を必要とせず輸血だけなど一般病院でも対応可能な治療は、紹介元医療機関や関連病院にお願いさせていただきます。

これからも皆様の信頼にお応えすべくスタッフ一丸邁進してまいりますので更なるご理解、ご協力を賜りませう「腫瘍内科」とどもよろしくお願い申し上げます。

腫瘍内科

部長 中根 実



外来化学療法室



スタッフメンバー

腫瘍内科は「あらゆる腫瘍(がん)に対する薬物療法を、抗がん剤治療を専門とする腫瘍内科医が行う診療科」です。幅広い診療域が特徴で、血液がんでは悪性リンパ腫、固形がんでは大腸がんをはじめとする進行再発がんに対する標準的化学療法を、十分な説明と同意を重視して行っています。

当科では外来化学療法室の運営も行っています。がん化学療法看護認定看護師も所属され、担当看護師を決めて患者さんのケアや相談を受けやすい環境にも配慮し、専門性の高いケアが提供できる体制です。

看護師・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカーと共に関し、「安全と安心」の抗がん剤治療を受けていただくように、「チームワーク」を大切にした医療を展開してまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。